



西新潟中央病院

## NST NEWS 第5号

NST: Nutrition Support Team

発行日：2014年2月4日

担当：NST委員会

編集：栄養管理室

連絡先：内線 1303

### NST委員会からのお知らせ ～第8回新潟NST研究会に参加して～

1月25日の土曜日、チサンホテル&コンファレンスセンター新潟で開催された第8回新潟NST研究会に参加してきました。当日は200人以上の参加者があり、とても活発な研究会となりました。その中で新潟市民病院総合診療内科・NSTの矢部正浩先生が講演された、「**がん終末期の栄養管理**」が非常に興味深い内容でしたので、一部報告させていただきたいと思います。

#### Q. 緩和期(予後数ヵ月程度の)進行がん患者の栄養障害は、栄養療法により改善するのか？

##### A1. 栄養摂取障害による栄養障害は、栄養治療によって改善が期待できる。

- ・腫瘍に伴う嚥下障害や、治療の副作用による食欲不振などで栄養摂取量が少なくなっている場合は、栄養治療によって改善が期待できるそうです。

##### A2. がんによって引き起こされた代謝異常に伴う栄養障害は、通常の栄養管理では改善が困難である。

- ・いわゆる「がん悪液質(cachexia)」の状態になると栄養障害の改善は難しく、QOLを考慮した対応が必要になるとのことでした。

#### Q. 終末期(予後1ヵ月以内)における輸液については？

##### A. 輸液量は500～1000ml/日、100～400kcal/日、アミノ酸0～30g/日が一つの目安。

- ・中カロリー輸液までが通常適応で、総合経静脈栄養(高カロリー輸液)は通常推奨されないとのことでした。



会場の様子



新潟医療センターNSTによる講演



新潟市民病院 矢部先生の講演

この他にも予後予測の重要性や、がん患者・家族とのコミュニケーションについてなど興味深い内容を学ぶことができました。資料をご希望の方は栄養管理室澤田までご連絡ください。

(文責：栄養管理室 澤田周矢)

### 第29回日本静脈経腸栄養学会学術集会のお知らせ

日時：平成26年2月27日(木)～28日(金)

場所：パシフィコ横浜

参加費：一般14,000円

栄養関連では日本最大規模の学術集会です。

### 編集後記

先日、NHOの群馬・新潟地区栄養士研修会で、群馬のこんにやく博物館に行ってきました。実際にこんにやく作りも体験し、トラブルもありましたが無事完成！お腹も膨れる研修会となりました。



2014年2月 栄養管理室 澤田 内線1303